

令和2年度
普通会計決算の状況（速報）

令和3年8月
石 卷 市

| | | |
|---|-----------|---|
| 1 | 決算概要 | 1 |
| 2 | 歳入の状況 | 4 |
| 3 | 歳出の状況 | 5 |
| 4 | 市債現在高の状況 | 6 |
| 5 | 基金現在高の状況 | 7 |
| 6 | 経常収支比率の状況 | 8 |

本資料は、特に記載のない限り、地方財政統計上全国的に用いられている「普通会計」の数値を記載している。

本市の普通会計には、一般会計（一部を除く）と特別会計の一部（土地取得特別会計及び市街地開発事業特別会計）が含まれる。

1 決算概要

(1) 歳入歳出の状況（3頁【表1】、4頁【図1】、5頁【図3】）

- ① 歳入総額は255,010百万円で、前年度に比べて12,022百万円、4.9%増加した。
- ② 歳出総額は179,360百万円で、前年度に比べて31,826百万円、15.1%減少した。
- ③ 歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した実質収支は5,746百万円の黒字であり、前年度の実質収支との差額である単年度収支は1,517百万円の黒字となった。黒字の主な要因は前年度よりも歳入歳出差引額が増加したことによるものである。一方、単年度収支に財政調整基金の積立・繰入による影響を控除した実質単年度収支は、6,281百万円の赤字となった。

(2) 市債現在高・積立金の状況（3頁【表1】、6頁【図5】、7頁【図7】）

① 市債現在高

市債現在高は84,222百万円で、前年度に比べて4,089百万円、5.1%増加し、臨時財政対策債等を除く通常債の残高は56,250百万円で、前年度に比べて4,764百万円、9.3%増加した。

<増加の主な要因>

複合文化施設等の整備に伴う教育関連事業債の増など。

② 積立金（基金）現在高

積立金（基金）現在高は46,101百万円で、前年度に比べて83,408百万円、64.4%減少した。

<減少の主な要因>

各種復興事業の進捗に伴う東日本大震災復興交付金基金の取り崩しなど。

(3) 各指標の状況（3頁【表1】、6頁【図5】、8頁【図9】）

① 財政力指数

標準的な行政活動を行うために必要な財政需要に対する市税収入等の割合を示す財政力指数は0.54で、前年度と同様の数値である。

② 経常収支比率

経常収支比率は99.8%で、前年度と比べ2.4ポイント改善した。

また、減収補てん債（特例分）及び臨時財政対策債を経常一般財源等から除いた

場合の経常収支比率は104.1%で、前年度に比べ2.3ポイント改善した。

<減少の主な要因>

既往債の借換債発行を行ったことによる減（前年度は1,460百万円の借換債の発行を行わず償還したことで、経常収支比率上昇の一因となった）など。

③ 実質公債費比率

実質的な公債費（地方債の元利償還金）が財政に及ぼす負担を表す指標である実質公債費比率は9.1%で、前年度に比べ0.2ポイント改善した。

(4) 他の類似団体との比較（令和2年度ベース）

① 自主財源比率（4頁【図2】）

地方公共団体における財政構造の自主性と安定性を図る尺度として使用される自主財源比率（自主財源の歳入総額構成比）は58.8%で、類似団体平均41.8%を17.0ポイント上回った。

② 投資的経費比率（5頁【図4】）

投資的経費比率は36.7%で、類似団体平均11.1%を25.6ポイント上回った。

③ 実質公債費比率（6頁【図6】）

実質公債費比率は9.1%で、類似団体平均4.6%を4.5ポイント上回った。

④ 市民一人当たりの市債現在高（6頁【図6】）

市民一人当たりの市債現在高（年度末現在の市債現在高をその時点における住民基本台帳登録人口で除したもの）は60.1万円で、類似団体平均34.7万円を25.4万円上回った。

⑤ 基金現在高（7頁【図8】）

基金現在高は46,101百万円で、類似団体平均13,297百万円を32,804百万円上回った。

⑥ 経常収支比率（8頁【図10】）

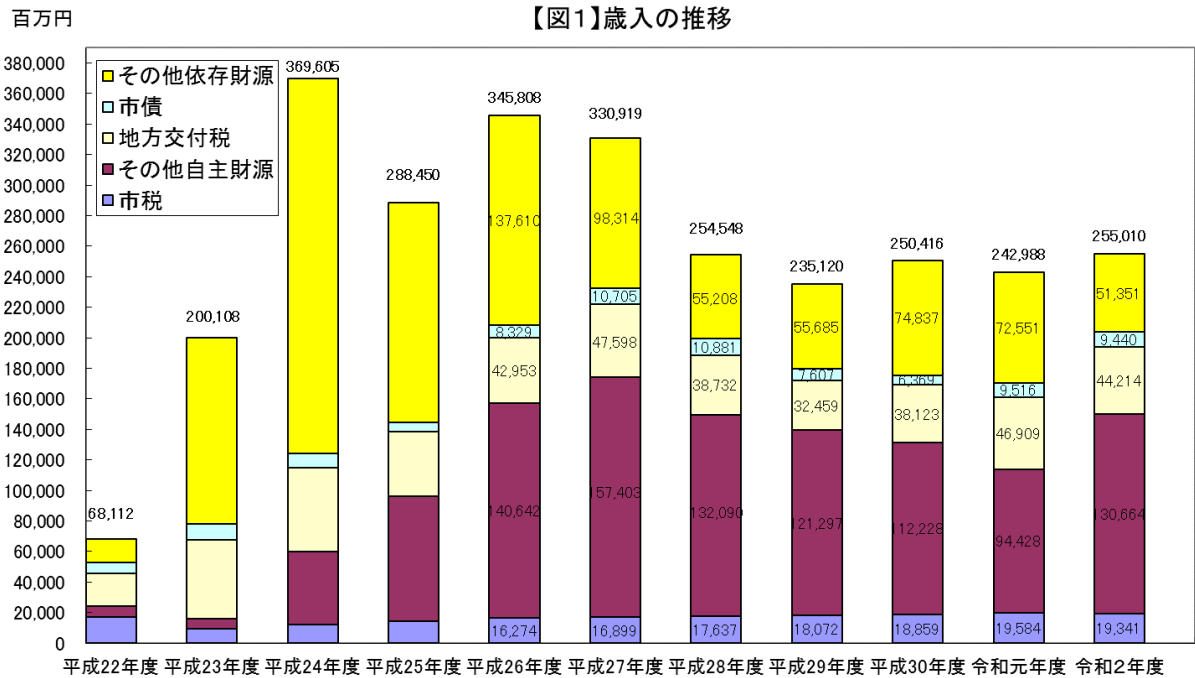
経常収支比率は99.8%で、類似団体平均93.7%を6.1ポイント上回った。

【表1】決算概要の推移

(単位：百万円、%)

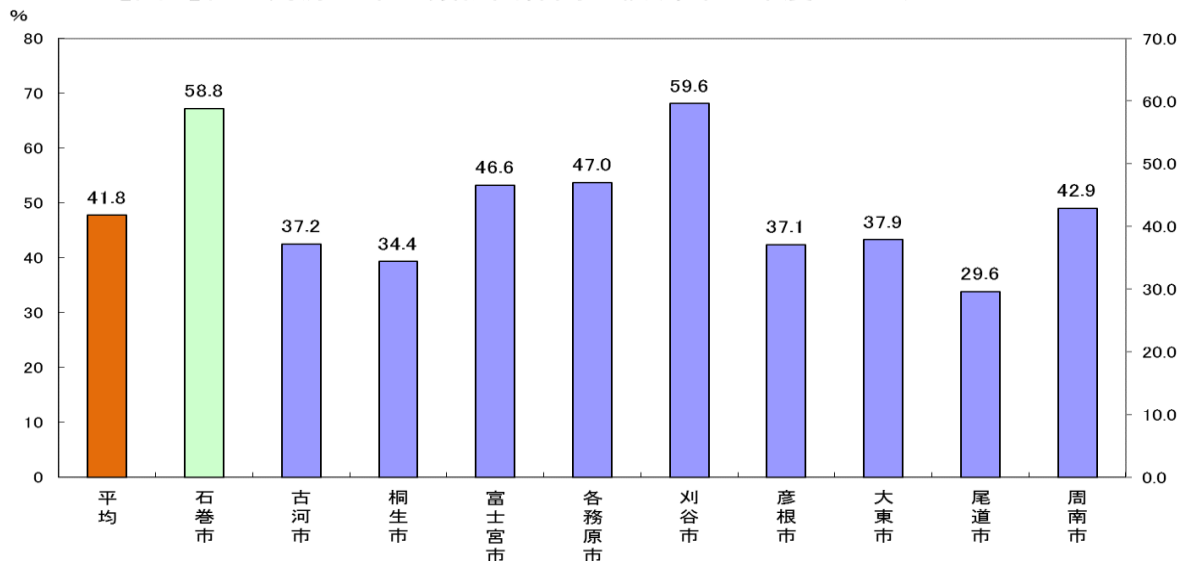
| 項目 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 (速報値) | 増減率 | | | | |
|-----------|------------------------|---------|----------|---------|---------|----------------|---------|---------|---------|---------|--------|
| | | | | | | | 平成27年度比 | 平成28年度比 | 平成29年度比 | 平成30年度比 | 令和元年度比 |
| 歳入決算額 | 330,919 | 254,548 | 235,120 | 250,416 | 242,988 | 255,010 | △ 22.9 | 0.2 | 8.5 | 1.8 | 4.9 |
| 市税 | 16,899 | 17,637 | 18,072 | 18,859 | 19,584 | 19,341 | 14.5 | 9.7 | 7.0 | 2.6 | △ 1.2 |
| ()は構成比 | (5.1) | (6.9) | (7.2) | (7.5) | (8.1) | (7.6) | | | | | |
| 地方交付税 | 47,598 | 38,732 | 32,459 | 38,123 | 46,909 | 44,214 | △ 7.1 | 14.2 | 36.2 | 16.0 | △ 5.7 |
| ()は構成比 | (14.4) | (15.2) | (13.0) | (15.2) | (19.3) | (17.3) | | | | | |
| 市債 | 10,705 | 10,881 | 7,607 | 6,369 | 9,516 | 9,440 | △ 11.8 | △ 13.2 | 24.1 | 48.2 | △ 0.8 |
| ()は構成比 | (3.2) | (4.3) | (3.0) | (2.5) | (3.9) | (3.7) | | | | | |
| 歳出決算額 | 281,121 | 201,678 | 190,270 | 208,185 | 211,186 | 179,360 | △ 36.2 | △ 11.1 | △ 5.7 | △ 13.8 | △ 15.1 |
| 人件費 | 11,980 | 12,062 | 12,238 | 11,858 | 11,596 | 12,381 | 3.3 | 2.6 | 1.2 | 4.4 | 6.8 |
| ()は構成比 | (4.3) | (6.0) | (5.9) | (5.7) | (5.5) | (6.9) | | | | | |
| 扶助費 | 10,877 | 11,481 | 11,877 | 11,725 | 12,325 | 12,457 | 14.5 | 8.5 | 4.9 | 6.2 | 1.1 |
| ()は構成比 | (3.9) | (5.7) | (5.7) | (5.6) | (5.8) | (6.9) | | | | | |
| 公債費 | 8,236 | 9,845 | 5,931 | 6,556 | 7,005 | 5,738 | △ 30.3 | △ 41.7 | △ 3.3 | △ 12.5 | △ 18.1 |
| ()は構成比 | (2.9) | (4.9) | (2.8) | (3.1) | (3.3) | (3.2) | | | | | |
| 投資的経費 | 126,895 | 93,272 | 73,256 | 58,972 | 63,442 | 65,782 | △ 48.2 | △ 29.5 | △ 10.2 | 11.5 | 3.7 |
| ()は構成比 | (45.1) | (46.2) | (35.2) | (28.3) | (30.0) | (36.6) | | | | | |
| 歳入歳出差引 | 49,798 | 52,870 | 44,850 | 42,231 | 31,802 | 75,650 | | | | | |
| 翌年度への繰越財源 | 39,217 | 40,028 | 37,348 | 34,304 | 27,573 | 69,904 | | | | | |
| 実質収支 | 10,581 | 12,843 | 7,502 | 7,927 | 4,229 | 5,746 | | | | | |
| 単年度収支 | 4,155 | 2,262 | △ 5,341 | 504 | △ 3,698 | 1,517 | | | | | |
| 基金積立金 | 254 | 2 | 104 | 2 | 1 | 2 | | | | | |
| 繰上償還額 | 0 | 0 | 19 | 0 | 0 | 0 | | | | | |
| 基金取崩し額 | 3,100 | 4,400 | 6,700 | 2,900 | 0 | 7,800 | | | | | |
| 実質単年度収支 | 1,309 | △ 2,136 | △ 11,918 | △ 2,395 | △ 3,697 | △ 6,281 | | | | | |
| 指数等 | 財政力指数 (3ヵ年平均) | 0.49 | 0.51 | 0.52 | 0.53 | 0.54 | 0.54 | | | | |
| | 経常収支比率 (臨時財政対策債等含む) | 91.3 | 98.9 | 99.7 | 99.9 | 102.2 | 99.8 | | | | |
| | 実質公債費比率 | 15.2 | 13.4 | 10.3 | 9.5 | 9.3 | 9.1 | | | | |
| | 将来負担比率 | 48.5 | 25.1 | 7.1 | 0.0 | 0.0 | 0.8 | | | | |
| | 市債現在高 | 73,147 | 74,806 | 77,027 | 77,322 | 80,133 | 84,222 | 15.1 | 12.6 | 9.3 | 8.9 |
| | 基金現在高 | 186,065 | 152,084 | 131,476 | 123,142 | 129,509 | 46,101 | △ 75.2 | △ 69.7 | △ 64.9 | △ 62.6 |

2 歳入の状況



- ① 市税は 19,341 百万円で、前年度に比べて 243 百万円、1.2%の減となった。
- ② 地方交付税は 44,214 百万円で、前年度に比べて 2,695 百万円、5.7%の減となった。
 - ・普通交付税 15,058 百万円（447 百万円、2.9%減）
 - ・特別交付税 1,571 百万円（368 百万円、19.0%減）
 - ・震災復興特別交付税 27,585 百万円（1,880 百万円、6.4%減）
- ③ 市債発行額は 9,440 百万円で、前年度に比べて 76 百万円、0.8%の減となった。
- ④ その他依存財源のうち国庫支出金は 38,787 百万円で、前年度に比べて 24,290 百万円、38.5%の減となった。
- ⑤ 自主財源比率は 58.8%で、前年度に比べて 11.9 ポイント増加した。

【図2】自主財源比率の類似団体間比較（令和2年度ベース）

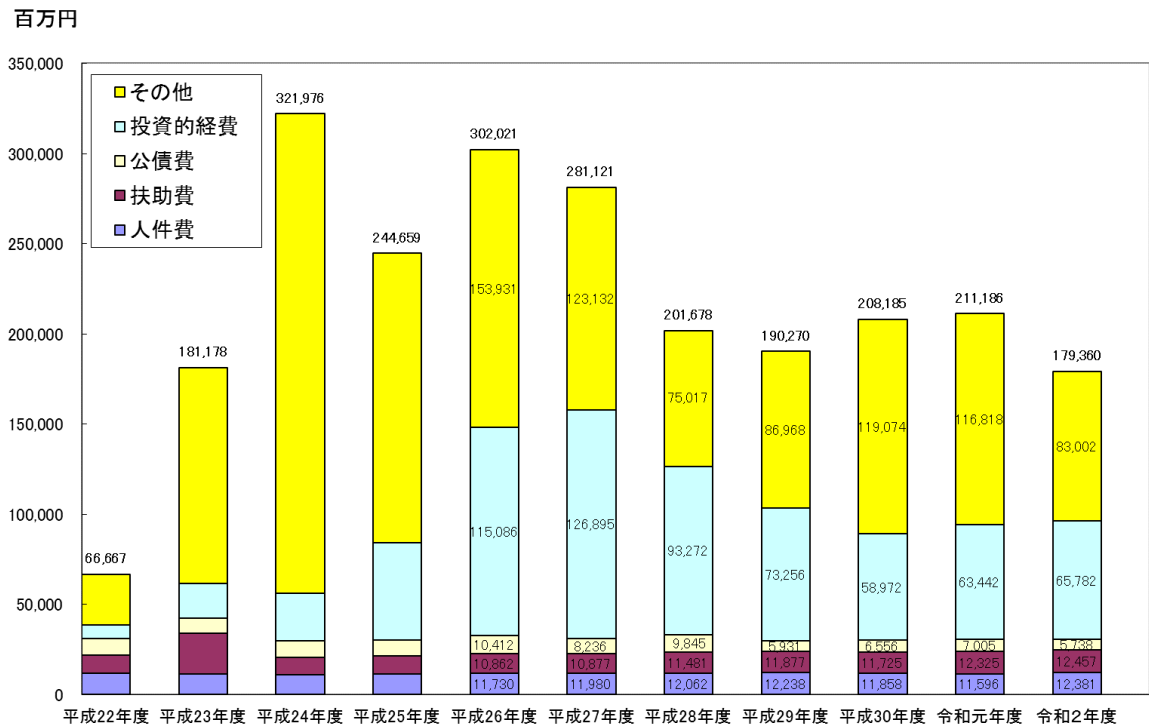


※類似団体平均は単純平均

※自主財源比率が高いほど、地方公共団体の財政面での自主性と安定性が高いと言われている。

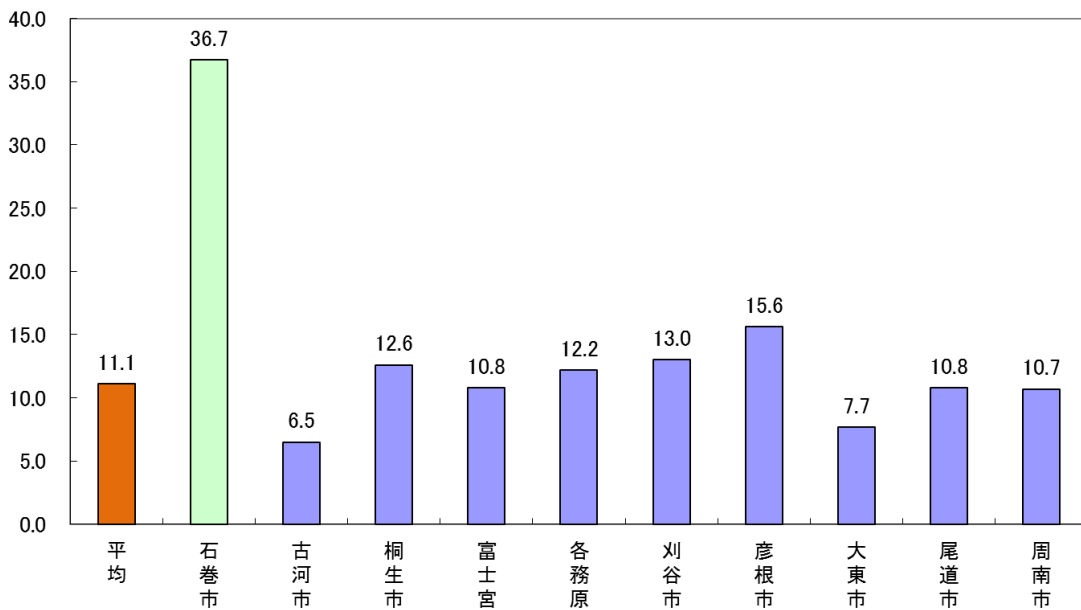
3 歳出の状況

【図3】歳出の推移



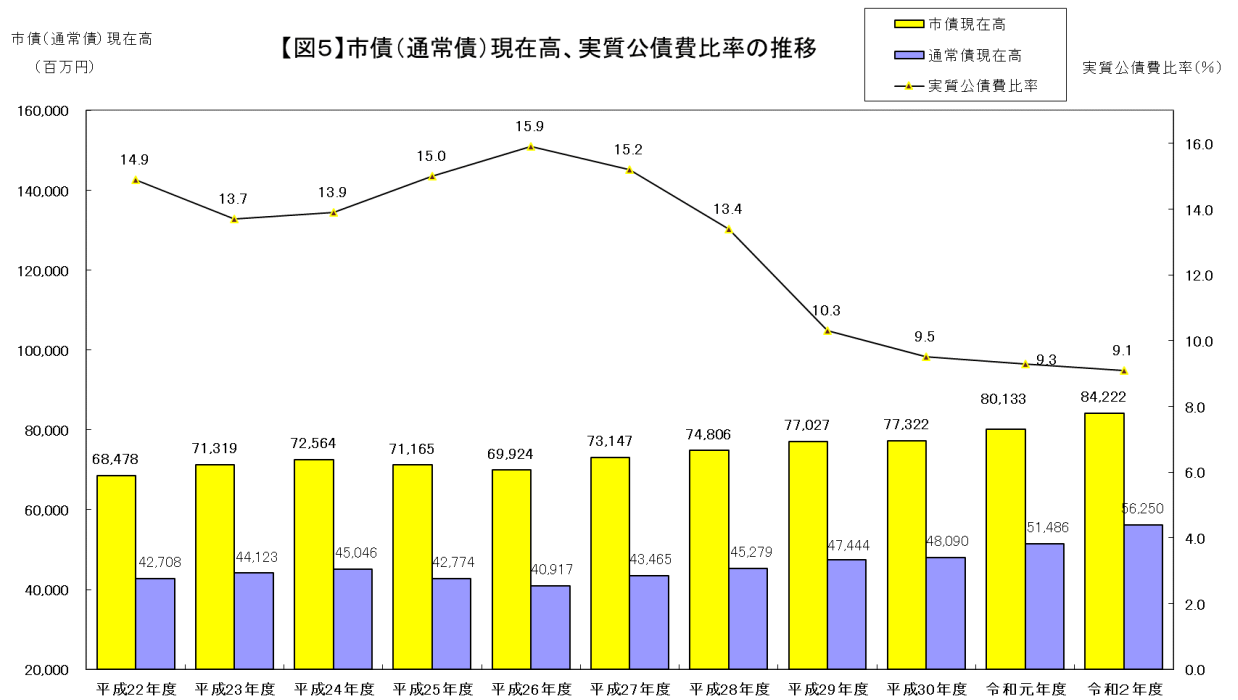
- ① 人件費、扶助費及び公債費で構成される義務的経費の合計は30,576百万円で、前年度に比べて全体で350百万円、1.1%の減となった。
また、義務的経費の歳出総額構成比は17.0%で、前年度に比べて2.4ポイント増加した。
- ② 投資的経費は65,782百万円、前年度に比べて2,340百万円、3.7%の増となった。
また、投資的経費の歳出総額構成比は36.7%で、前年度に比べて6.7ポイント増加した。

【図4】投資的経費比率の類似団体間比較(令和2年度決算ベース)



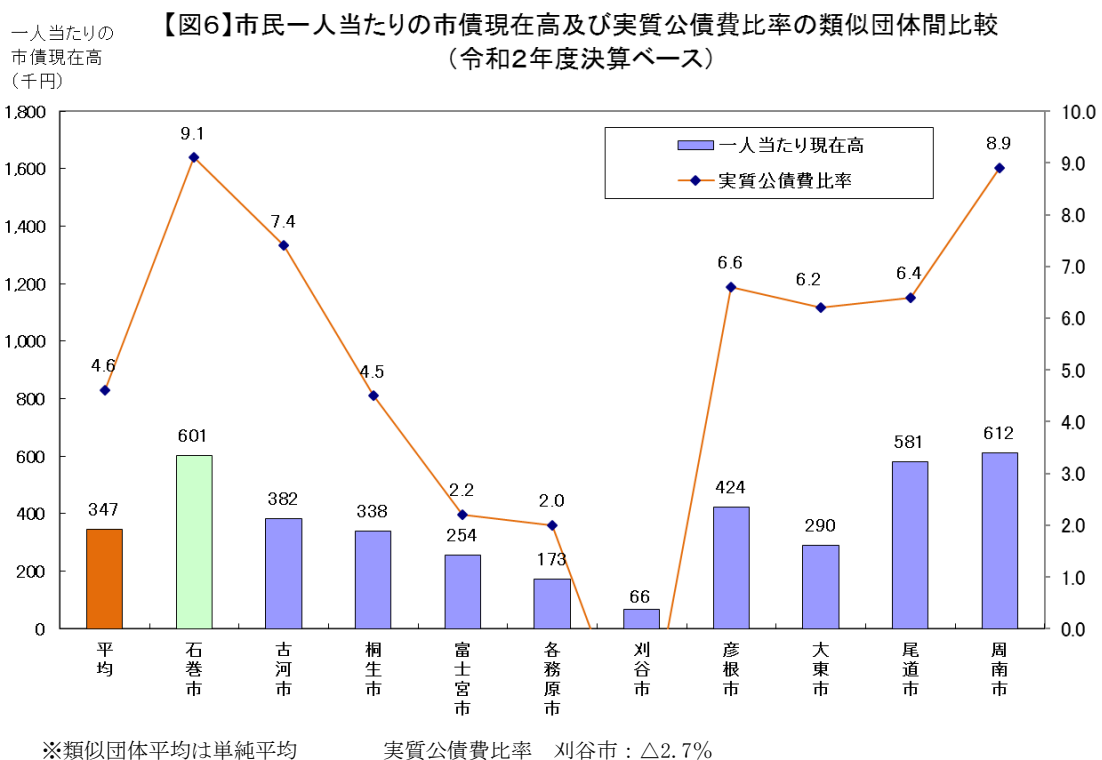
※類似団体平均は単純平均

4 市債現在高の状況

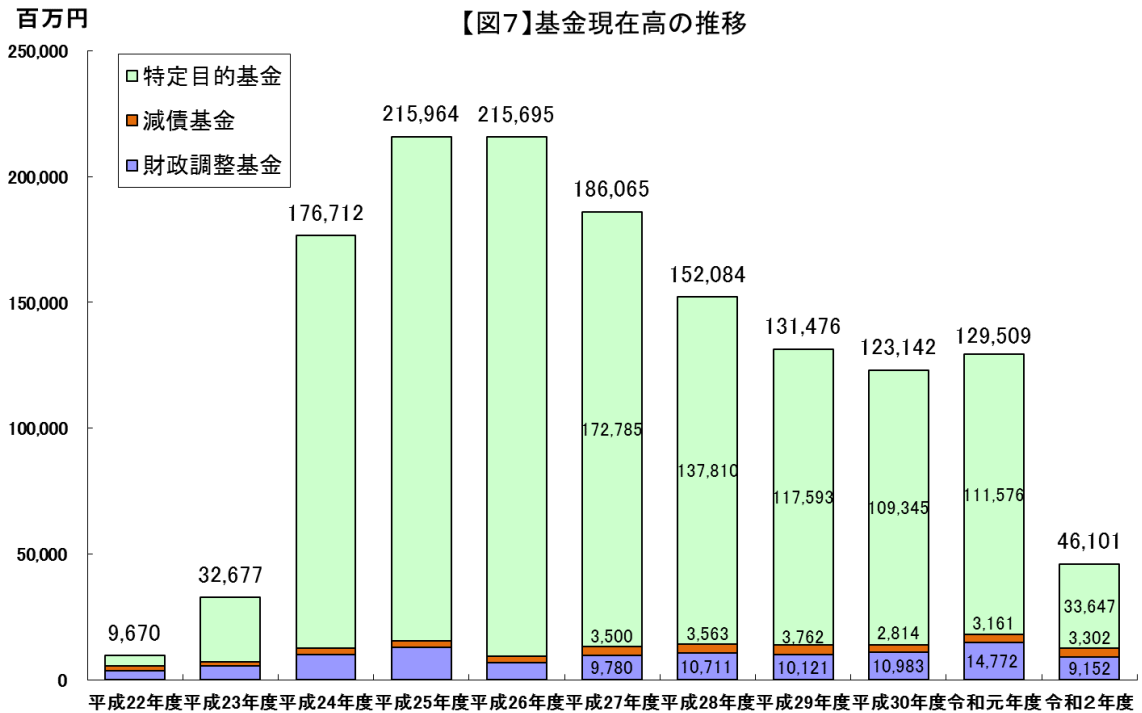


令和2年度末における市債残高 84,222 百万円のうち、臨時財政対策債等を除く通常債の残高は 56,250 百万円で、前年度に比べて 4,764 百万円、9.3%の増となった。

※「臨時財政対策債等」に含まれるのは、減税補てん債、臨時税収補てん債、臨時財政対策債、減収補てん債(特例分)である。



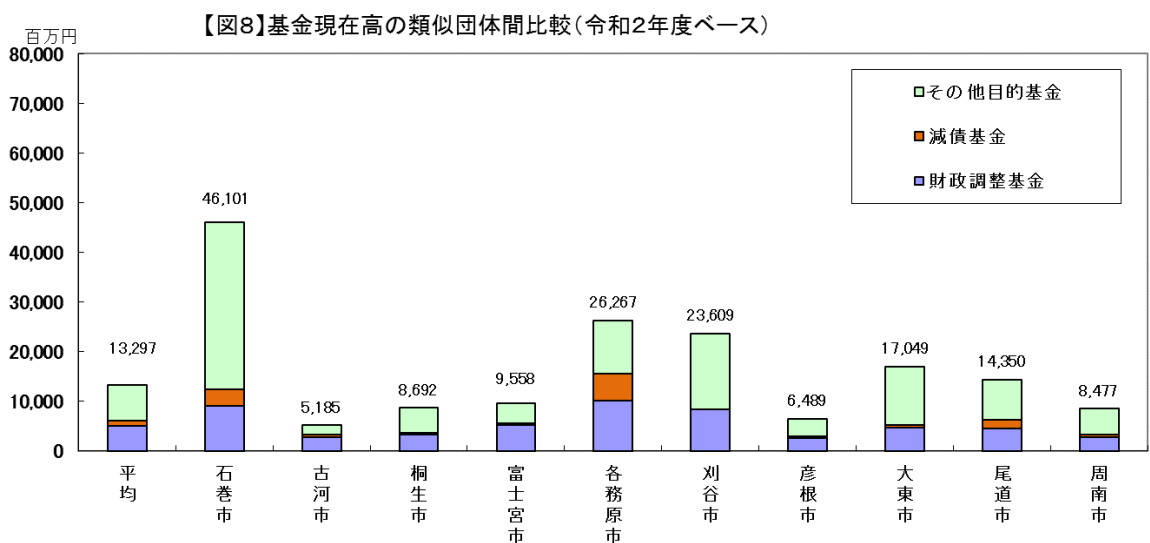
5 基金現在高の状況



① 令和2年度末における基金残高46,101百万円のうち、財政調整基金の残高は9,152百万円で前年度に比べて5,620百万円、38.0%の減、減債基金の残高は3,302百万円で前年度に比べて141百万円、4.5%の増、その他特定目的基金の残高は33,647百万円で前年度に比べて77,929百万円、69.8%の減となった。

② 市民一人当たりの基金残高は32万9千円で、前年度に比べて58万4千円の減となった。

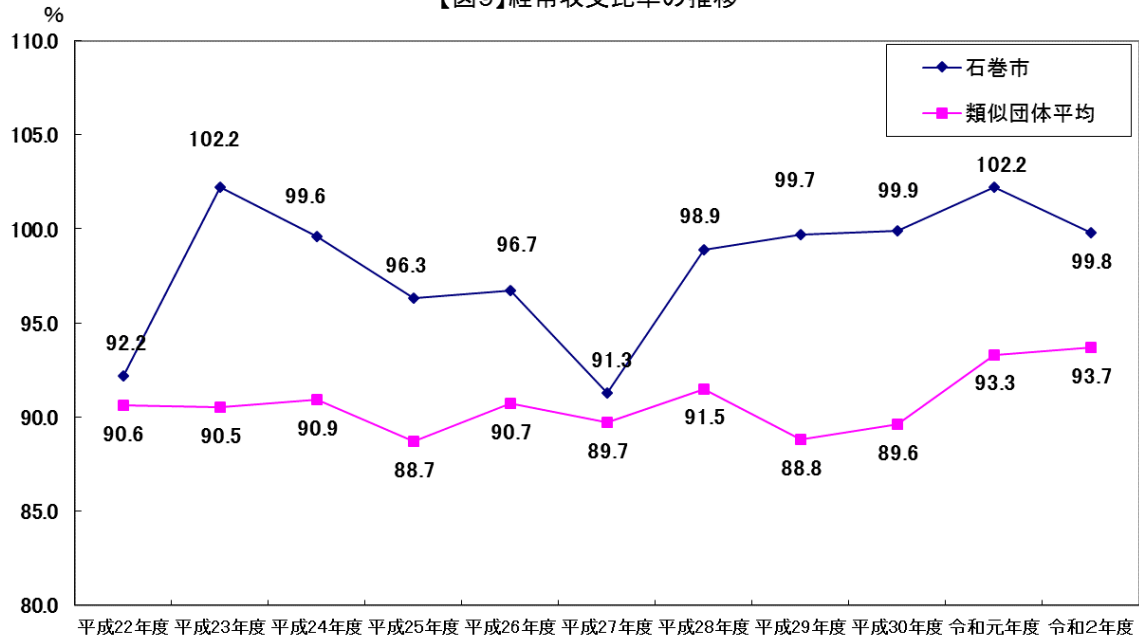
(※年度末現在の基金残高をその時点における住民基本台帳登録人口で除したもの)



※類似団体平均は単純平均

6 経常収支比率の状況

【図9】経常収支比率の推移



※経常収支比率は一般財源に臨時財政対策債等を含む数値

※類似団体平均は総務省で定めた類似団体の加重平均

- ① 経常収支比率は、市税や地方交付税等の経常的な収入のうち、人件費、扶助費、公債費及び物件費等の経常的な支出に充てられた割合を示し、当該団体の財政構造の弾力性を測定するための指標として用いられる。
- ② 経常収支比率は、その比率が高いほど臨時の財政需要に余裕がなく、財政構造が硬直化している状況にあることを示す。

【図10】経常収支比率の類似団体間比較(令和2年度ベース)

